

2025 年度 研究センター事業報告書

研究センター名	加藤周一現代思想研究センター
---------	----------------

I. 研究成果の概要（公開項目） ※1ページ以内にまとめること

本欄には、研究センターの実施した全ての研究の成果について、その具体的内容、意義、重要性等を、項目立てなどをおこなうだけでいいわけではなく、簡単に記述してください。

2025 年度は 2024 年度に引き続き、遺稿ノート 7 冊分の翻刻とそのデジタル・アーカイブの公開を行った。また書簡・写真の整理と調査を行い、書簡の目録を作成し、「加藤周一文庫所蔵書簡目録」として刊行した。また 2019 年以来続いている加藤周一文庫公開講読会『続羊の歌』を読む』を 11 回行った。

【研究成果】

- 資料研究:デジタル・アーカイブ:以下の遺稿ノートを翻刻してデジタル・アーカイブ化し、立命館大学平井嘉一郎記念図書館ホームページ上で公開した。このことにより、本研究センターの研究目的である加藤周一遺稿の研究・整理・調査を行うことができ、その成果をインターネット上で広く公開することができた。また、加藤周一の思想研究の基礎的資料を公開することができた。公開されたノート:「日独近代」「Taisho Democracy as the prestage of Japanese Militarism」「日本史(Ideen Werte) II」「日本史(Ideen Werte) I」「文学史」「翻訳について」「幻想薔薇都市」のメモ書き他。
- 資料研究:加藤周一文庫所蔵の加藤周一に関連する書簡・写真の調査を行い、「加藤周一文庫所蔵書簡目録」を刊行した。これにより、今後の加藤周一研究の基礎資料を公表できる準備を達成した。

【成果発信:社会連携】

- 公開講読会:加藤周一著『続羊の歌』を題材とした公開講読会を行った。これは加藤周一現代思想研究センターの仕事を手伝っている立命館大学の大学院生による発表を一般市民の前で行うものであり、加藤周一を理解するためだけではなく、大学院生にとっての教育的機会となっている。オンラインも含めて毎回 60 名近い参加があり、加藤周一文庫及び立命館大学平井嘉一郎記念図書館の知名度を上げるためのアウトリーチ活動としても大いに成果を上げている。
- 公開講演会:土曜講座において、鷺巣力、半田侑子が「加藤周一が愛したもの——言葉と人間」というタイトルで講演会を行った。

【外部資金】

- 科研費:加國尚志「フランス実存主義哲学の日本での受容についての基礎的研究」(基盤 C)、半田侑子「書簡から読み解くマチネ・ポエティク——中村真一郎・福永武彦・加藤周一の詩と思想」(基盤 C)を保有し、それぞれ研究活動を行った。

以上、「資料の整理・調査・研究と公開」「研究成果の発信」「研究成果の社会連携的発信と若手育成」「外部資金による研究」といった点で、順調な成果をおさめることができた。

Ⅱ. 拠点構成員の一覧（公開項目）※ページ数の制限は無し

本欄には、2026 年 3 月 31 日時点で各拠点にて所属が確認されている本学教員や若手研究者・非常勤講師・客員研究員等の構成員を全て記載してください。区分が重複する場合は二重に記入せず、役割が上にあるものから優先し全て記載してください。また、若手研究者の条件に当てはまる場合は、必ず若手研究者欄に記載をしてください。

※若手研究者とは、立命館大学に在籍する以下の職位の者と定義します。

①専門研究員・研究員、②補助研究員・RA、③大学院生、④日本学術振興会特別研究員(PD・RPD)

役割		氏名	所属	職位
センター長		加國尚志	文学部	教授
運営委員		小関素明	文学部	教授
		岡本雅史	文学部	教授
		北村順生	映像学部	教授
学内教員 (専任教員、研究系教員等)				
学内の若手研究者	専門研究員 研究員 初任研究員	半田侑子	衣笠総合研究機構	プロジェクト
	補助研究員・リサーチアシ スタント			
	大学院生	福井優	文学研究科	博士後期課程
		堀内智吉	文学研究科	博士後期課程
		西村咲希	文学研究科	博士前期課程
		佐々木梓	文学研究科	博士後期課程
		芥川弘樹	文学研究科	博士後期課程
	学振特別研究員 (PD・RPD)			
その他の学内者 (非常勤講師・研究生・研修生等・ 博士前期課程院生等)				
客員協力研究員		樋口 陽一	東京大学	名誉教授
		三浦 信孝	中央大学文学部	名誉教授
		鷺巣 力	編集著述業者	
		石平 知久	(公財)ひょうご震災記念 21 世 紀研究機構	研究員

	孫 歌	中国社会科学院文学研究所	研究員
	岩津 航	金沢大学人間社会研究域	教授
	川口 雄一	成蹊大学法学部	非常勤講師
	扇 家慧	北京大学	副教授
	李 成市	在日韓人歴史資料館	館長
	彭 佳紅	帝塚山学院大学	名誉教授
	落合 勝人	株式会社集英社	新書編集部 部長 代理 兼 編集
	福間 良明	京都大学大学院教育学研究科	教授
その他の学外者 (他大学教員・若手研究者等)			
センター構成員 計 22 名 (うち学内の若手研究者 計 4 名)			

Ⅲ. 研究業績（公開項目） ※ページ数の制限は無し ※to be published,の状態の業績は記載しないで下さい。

本欄には、「Ⅱ. 拠点構成員の一覧」に記載した研究者の研究業績のうち、拠点に関わる研究業績を全て記載してください(2026 年 3 月 31 日時点)。

1. 著書							
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌（及び巻・号数）等の名称	その他編者・著者名	担当頁数
1	小関素明	「大東亜戦争」幻想化と戦「争責任」の精神史	単著	2025 年 12 月	人文書院	なし	PP. 1～352

2. 論文								
No.	氏名	著書・論文等の名称	単著・共著の別	発行年月	発行所、発表雑誌、巻・号数	その他編者・著者名	担当頁数	査読有無
1	加國尚志	錯綜体・多様体—市川浩身体論再考	単著	2026 年 2 月	立命館大学人文科学研究所, 立命館大学人文科学研究, 145 号	なし	PP. 363～382	有
2	小関素明	研究ノート・近代天皇制を解説するために	単著	2025 年 12 月	立命館大学人文科学研究所紀要 144 号	なし	PP. 209～232	有

3. 研究発表等					
No.	氏名	発表題名	発表年月	発表会議名、開催場所	その他発表者名
1					

4. 主催したシンポジウム・研究会等					
No.	発表会議名	開催場所	発表年月	来場者数	共催機関名
1	第 56 回 加藤周一公開講演会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム	2025 年 4 月	65 名	
2	第 57 回加藤周一公開講演会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠キャンパス 平井嘉一郎記念図書館カンファレンスルーム	2025 年 5 月	62 名	

3	第 58 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2025 年 6 月	50 名	
4	第 59 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2025 年 7 月	45 名	
5	第 60 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2025 年 9 月	49 名	
6	第 61 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2025 年 10 月	50 名	
7	第 62 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2025 年 11 月	52 名	
8	第 63 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 創思 館 303、304 教室	2025 年 12 月	58 名	
9	第 64 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2026 年 1 月	64 名	
10	第 65 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 カンファレンスル ーム	2026 年 2 月	54 名	
11	第 66 回加藤周一公開講読会『続 羊の歌』を読む	立命館大学 衣笠 キャンパス 平井 嘉一郎記念図書館 2 階セミナール ーム 1	2026 年 3 月	45 名	
12	立命館大学土曜講座 加藤周一が愛したもの――言葉と人間	末川記念館	2026 年 2 月	147 名	

5. その他研究活動（報道発表や講演会等）				
No.	氏名	研究業績名	発表場所等	研究期間
1	鷲巣力・半田侑子	立命館大学土曜講座（第 3442）	立命館大学（衣笠キャンパス）	2026 年 2 月 28 日
2	小関素明	終戦 80 周年記念講演・文学者たちの「大東亜戦争」――なぜかれらは熱狂したのか――	新潟県柏崎市	2025 年 8 月 9 日

6. 受賞学術賞					
No.	氏名	授与機関名	受賞名	タイトル	受賞年月
1					

7. 科学研究費助成事業（科研費）

No.	氏名	研究課題	研究種目	開始年月	終了年月	役割
1	加國尚志	フランス実存主義哲学の日本での受容についての基礎的研究	基盤研究(C)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	代表
2	加國尚志	20 世紀フランス思想におけるハイデガーとベンヤミンの受容史の解明	基盤研究(B)	2023 年 4 月	2026 年 3 月	分担
3	加國尚志	メルロ＝ポンティの新発見草稿の解読と研究——国際共同研究	基盤研究(C)	2025 年 4 月	2027 年 3 月	分担
4	半田侑子	書簡から読み解くマチネ・ポエティク——中村真一郎・福永武彦・加藤周一の詩と思想	基盤研究(C)	2024 年 4 月	2027 年 3 月	代表

8. 科研費を除くすべての外部資金（政府系、民間財団、民間企業との共同研究費等）						
No.	氏名	研究課題	資金制度・研究費名	採択年月	終了年月	役割
1						

9. 知的財産権								
No.	氏名	名称	出願人 区分	発明人 区分	出願番号	公開番号	登録（特許）番号	国
1								